

教職をめざす学生を応援するフリーマガジン

2015
spring
vol. 3

EDU PONT

エデュポン

特集

潜入！ 教員の一日

CAMPUS
SNAP

関東編

埼玉大学、目白大学

学生生活で一番
幸せな時は？

中国編

岡山大学、くらしき作陽大学

自分の大学の
好きなところは？

早稲田大学
理工学部1997年卒業

藤木直人さん
俳優



Contents

03 表紙の人インタビュー
藤木直人さん
多くの方の支えがあり
自分は演じられている

05 活躍する先輩たち
平田なつみさん
子どもと一緒に
自分も勉強させてもらっています

06 特集
潜入！
教員の一日

10 学長が語る
栗林澄夫さん
小学校で英語が教科化
教員養成機能の国際化を

11 データで見る教育現場
知っていますか？
保護者の教育に関する
意識調査

12 今さらきけない教育問題
「義務標準法」とは？
樋口修資さん

14 教員が薦める名映画
学生にこそ感じてほしい
「ペイ・フォワード 可能の王国」
が描く助け合いの精神
佐々木久美子さん

18 キャンパススナップ
学生生活で一番ハッピーな時は？
自分の大学の好きなところは？

20 学生発案企画
教育実習
事前準備特集

22 教育リレーコラム
早川信夫さん
「すっばいのは青」
「本当に伝えたいことは何？」



撮影協力：目白大学

—いつ頃から俳優をめざし始めたのですか。
高校生の頃だったと思います。ただ、俳優というよりも漠然と「芸能人になりたい」と思っていました。
当時の僕は、スポーツや勉強のよくできる兄に隠れた存在だと感じていたところがあって、「自分を認めてほしい、変えたい」と思っていたのですが、なかなかうまくいかなくて。そんな時、テレビ画面に映る華やかでキラキラした世界が、自分を変えてくれると思ったんです。今振り返ると、完全に他力本願ですよ（笑）。

—そんな中、早稲田大学への進学を選択されました。芸能界に入りたいと思っ
てはいても、なかなか行動に移せなかったんです。通っていた高校が進学校だったので、同級生は当たり前のように大学へ進学する。自分も何となくその流れに乗ったという感じですね。

表紙の人インタビュー

多くの方の支えがあり 自分は演じられている

俳優 藤木直人さん
早稲田大学 理工学部1997年卒業

—今年、デビュー20周年です。振り返って思うことは？
この業界に入るまでは、「俳優は覚えさせりふを言えばいいだけ」と思っていたし、ドラマや映画を観ていても、主要な登場人物にしか目がいかなかった。せりふのないエキストラの方々、カメラマンや音声さん、照明さんなど数多くの出演者やスタッフが関わって初めて、一つの作品が完成する。俳優として演じられるのは、こうした方々の支えがあるからだと実感しました。

—4月開始のドラマ『心がポキッとね』で、「悩めないことが悩み」という家具店のオーナー役を演じています。今回のドラマは色々なストレスを抱えた「病んでるオト

—雑誌モデルのオーディションがきっかけで、芸能界への道が拓けました。
当時、阿部寛さんや風間トオルさんなど、モデル出身の俳優さんが多くて。それで『メンズノンノ』の誌面オーディションに応募したんです。結果は、最終審査で落選。しかし、誌面を見た事務所関係

—4月開始のドラマ『心がポキッとね』で、「悩めないことが悩み」という家具店のオーナー役を演じています。今回のドラマは色々なストレスを抱えた「病んでるオト



Naohito Fujiki

ナノのラブコメディです。ただ実際の撮影現場は楽しくて、ストレスが溜まるという感じはあまりないです（笑）。自分とは正反対のキャラクターなので、役作りは大変ですが、これからのストーリーが展開されるのか、楽しみながら演じていきたいと思っ
ます。

Profile

1972年生まれ、千葉県出身。95年、大学在学中に映画『花より男子』で俳優デビュー。連続テレビ小説『あすか』、ドラマ『ナースのお仕事』、『ホテルノヒカリ』など多くの話題作に出演。4月8日スタートのフジテレビ系ドラマ『心がポキッとね』（毎週水曜10時）に出演中。





平田なつみさん
1991年福島県生まれ。2010年3月、福島県内の公立高校を卒業し、同4月に東北福祉大学子ども科学部に入学。13年、教員採用試験に合格し、14年から神奈川県平塚市立なでしこ小学校教諭として勤務。

子どもと一緒に 自分も勉強させて もらっています

平塚市立なでしこ小学校教諭

平田なつみさん

活躍する
先輩たち

VOL.3

小 学生の頃から年の離れた妹の世話をしていたからか、気が付いた時には、「子どもと関わるのが楽しい」と感じていました。本格的に職業として教員を意識し始めたのは中学生の頃から。職場体験で保育士の仕事を体験し、「子どもに関わる仕事に就

きたい!」と、教職を志すようになりました。大学進学後は、勉強はもちろん、アルバイトやサークル活動にも力を入れていました。アルバイトは、水泳のインストラクターを3年ほど。水泳を3歳頃から続けていたのと、教員になつたら体育の水泳指導の際に役

立つと思って。でも、やるのと教えるのでは大違い。「人にモノを教える」ということの難しさを痛感しました。サークル活動では、同じく教員になってから役立つようにと、児童養護施設で子どもたちと遊んだり、勉強を教えたりするボランティアを行っていました。

成長できたのかな」と、嬉しい気持ちになりました。教員になって一年。子ども一人ひとりの特徴を把握した、丁寧な授業を心がけています。尊敬する中学の時の担任の先生の影響も知れません。とにかく生徒をしっかり見てくれる先生でした。例えば、家庭学習で使ったノートが一冊終わると、最後のページにびっしりとコメントを書いてくれるのが嬉しくて。生徒のやる気を引き出すのがうまかったんですね。

3年の時に4週間、母校である福島県相馬市の小学校で教育実習を経験。東日本大震災の翌年ということもあり、子どもたちは自由に外遊びができず、本当に窮屈がかわいそうだと感じました。実習中に最も大切にしたのは、子どもとの距離感です。授業中は「先生と児童」の関係を保ち、休み時間には、自ら声をかけて、ドッジボールなどをして一緒に遊ぶ。近すぎず、遠すぎず、メリハリのある関係を築くように意識しました。

自分なりの理想はあるものの、まだまだ失敗してばかり。時には、「先生、間違ってるよ」と指摘されることもあります。子どもから学ぶことは本当に多い。「この考えをどう思う?」と、国語や道徳の授業で自分の意見を発表させると、想像もしない素直で感動するような答えが返ってくる。そんな時は、褒めてあげるのと同時に、自分自身も勉強させてもらっています。

しかし、実際に教員になって実感したのは、想像以上に授業の準備や宿題の採点などに時間がかかり、子どもたちと接する時間がなかなか取れないことでした。想像とのギャップに悩みましたが、子どもたちから、「先生、一緒に遊ぼう」と誘ってくるようになった時、「少しは

教員は、学生のみならず想像するよりも大変な仕事だと思います。でも、子どもがイキイキと学校生活を送る姿を目の当たりにする度、「教員になって良かった」と思えるはずですよ。



同じ夢をめざす仲間と 今しかできない経験を!



「EDUPONTエデュボン」は、学校や地域という枠を超え、さまざまな形でこれから「教育」を担っていく学生のみなさんを応援するコミュニティマガジンです。媒体の制作を通じて、全国の教育学部生の交流の場、学生が自由に「志」を抱き、行動に移すための有益な情報や活躍の場を提供することをめざしています。「EDUPONTエデュボン」の制作に加わってくれる全国の教員志望の大学生のみなさんの応募を心よりお待ちしております!

EDUPONT 大募集!

エデュボン 大学生特派員

- 【応募条件】
教員志望もしくは教育に興味のある大学生
 - 【活動内容】
①年2回程度の編集会議への出席*1
②編集会議で担当が決まった企画の企画立案、取材、原稿作成*2
- *1:編集会議は東京で開催。往復交通費等は「社会応援ネットワーク」が負担いたします。
*2:取材経費(交通費、宿泊費等)は「社会応援ネットワーク」が負担いたします。実働内容に合わせ、薄謝ですが謝礼もご用意しています。

【応募方法】
E-mailにて、件名に「エデュボン大学生特派員参加希望」、本文に①氏名 ②大学名 ③学部学科 ④学年 ⑤住所 ⑥電話番号を記載の上、
edupont@shakai-ouen.comまでご応募ください。
(なお、応募状況によってご希望に沿えない場合もあります。ご了承ください。)

社会応援 ネットワーク

部活動が終了してから、片付けを済ませて部員全員が下校するのが19時頃になることも。部活動の顧問をしている場合は、子どもたちを見送ってから、残っている事務作業や翌日の授業準備を済ませる。退勤するのは、20時以降になることが多い。



部活動の終了後に残っている事務作業や翌日の授業準備を

6時間目の授業が終わると、子どもたち全員で清掃活動となる。掃除が終わり次第、「帰りの学活（帰りの会）」が行われる。翌日の連絡事項や生徒会活動の連絡、文化祭など行事の話し合いなどを行うことが多く、終了が16時半を過ぎることも多々ある。

担任するクラスで子どもと一緒に給食を食べる。給食時間が決まっているので、それに間に合うように急かしてしまうことも。

今回の特集は「教員の一日」について。「小学校と中学校の教員の業務はどのように違うのか?」。そんな疑問を解決すべく、実際に働く教員の方にお尋ねして、一日のタイムテーブル例を作成してみました。

潜入！ 教員の一日

特集

8時過ぎには職員室で朝礼に参加。校長や教頭等からの連絡事項を確認後、教室へ向かう。子どもの日記や家庭学習ノートを回収し、チェックする。8時半頃から「朝の学活（朝の会）」を始め、一日の諸連絡を行う。その後、朝読書や朝学習にとりくむ学校もある。

朝練や朝礼が終了したらすぐさま教室へ！

ほとんどの教員は7時頃に出勤し、一日の準備を始める。



放課後、勉強が不得意な生徒に再テストや補習を行うことも。また、研修や会議があったり、生徒指導が必要な問題が起きれば、三者面談や家庭訪問をしたりすること。



できることなら毎日、部活に顔を出したい……

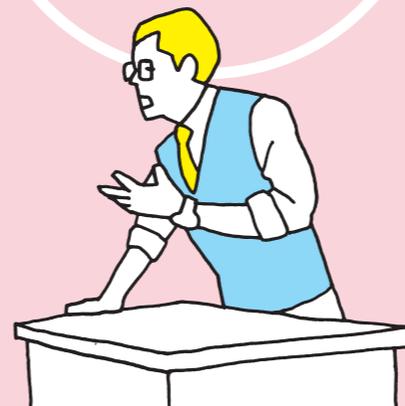
職員会議などがない日は部活動の指導に向かう。職員会議や学校外での研修に参加しなければならない場合、部活に顔を出せないことも。

「昼休み」とはいえ休んでいる場合じゃない

子どもと個別に面談、友人関係でもめている子どもと話す、委員会の仕事、質問に来る子どもに勉強を教える……といったように、デスクワークができる時間は少ない。その一方で、各家庭への配布物の作成や事務作業があるため、副担任と分担するなどして、同学年の教員間での連携が重要。その他にも校務分掌（学校内の運営上必要な業務分担）に従い、行事の準備や部活動の練習試合の手配などをする場合もある。



小学校とは異なり「教科担任制」であるため、授業のない時間がある。この間に教材研究や授業準備、保護者連絡など、職員室で事務作業を行う。特別支援学級の授業を受け持つこともある。子どもがより丁寧に理解できるよう、教材研究は欠かせない。

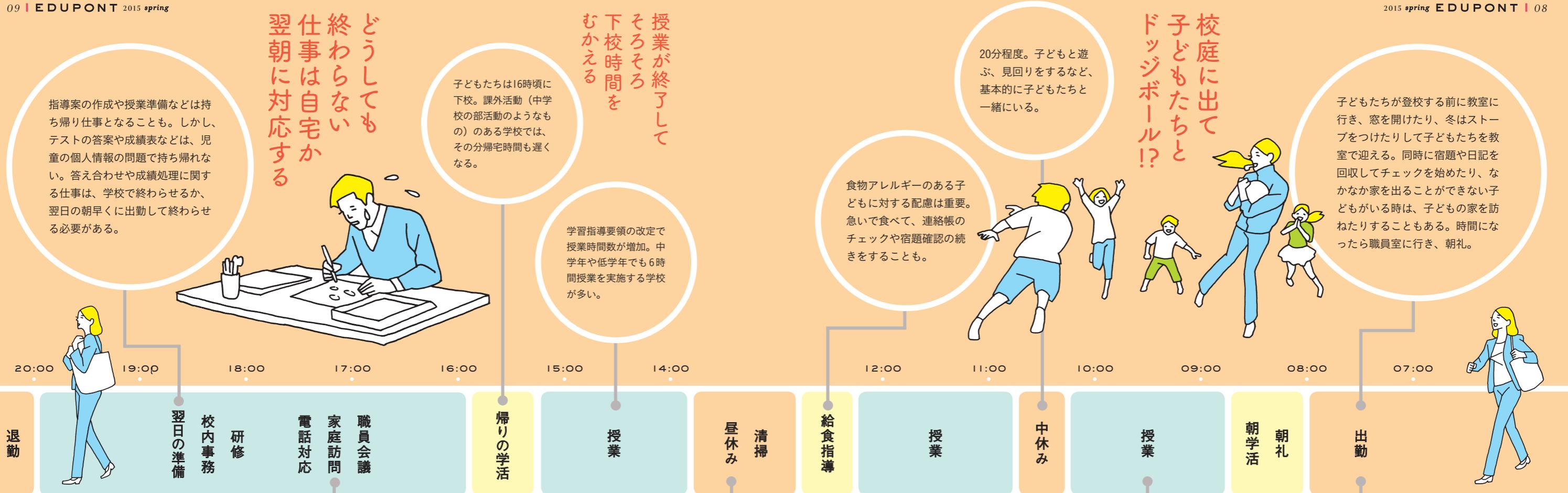


授業の空き時間に事務作業や教材研究を行う



朝練のある部活動の顧問をしている場合は、6時30分頃には学校に到着。出勤後は一日の準備を始め、7時半頃から朝練に付き添う。グラウンドが狭い学校の場合、活動場所や時間の調整で朝の時間を活用していることもある。

中学校編



どうしても
終わらない
仕事は自宅か
翌朝に対応する

授業が終了して
そろそろ
下校時間を
むかえる

校庭に出て
子どもたちと
ドッジボール!?

子どもたちは16時頃に
下校。課外活動(中学
校の部活動のようなも
の)のある学校では、
その分帰宅時間も遅く
なる。

学習指導要領の改定で
授業時間数が増加。中
学年や低学年でも6時
間授業を実施する学校
が多い。

食物アレルギーのある子
どもに対する配慮は重要。
急いで食べて、連絡帳の
チェックや宿題確認の続
きをするこも。

20分程度。子どもと遊
ぶ、見回りをするなど、
基本的に子どもたちと
一緒にいる。

子どもたちが登校する前に教室に
行き、窓を開けたり、冬はストー
ブをつけたりして子どもたちを教
室で迎える。同時に宿題や日記を
回収してチェックを始めたり、な
かなか家を出ることができない子
どもがいる時は、子どもの家を訪
ねたりすることもある。時間にな
ったら職員室に行き、朝礼。

同僚の教職員との
情報交換や
コミュニケーションの場

定期で職員会議が開かれる。同学年の教職員と
子どもの様子などの情報交換をする。気になる
様子を見せた子どもの保護者と連絡相談や個別
面談など多くの業務がある。家庭訪問をする場
合は、19時を目途に実施することが多い。保護
者だけに限らず、地域の方からの電話がこの時
間帯に多く、対応に追われることがある。

昼休みとは言えども
常に子どもの
様子を気にかける

休みは休憩時間扱いとはいえ、
実際には児童会活動や委員会活
動があり、基本的にはその時間
帯も教室や廊下において、子ども
たちと話したり、様子を見たり
している。宿題の丸つけや連絡
帳を書く追い込みの時間でもあ
る。

充実した教科指導のため
日頃から教材研究を

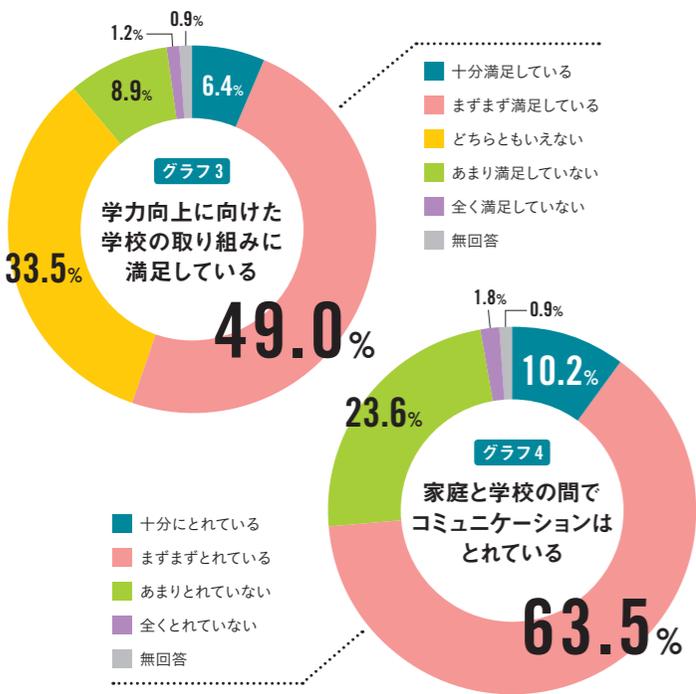
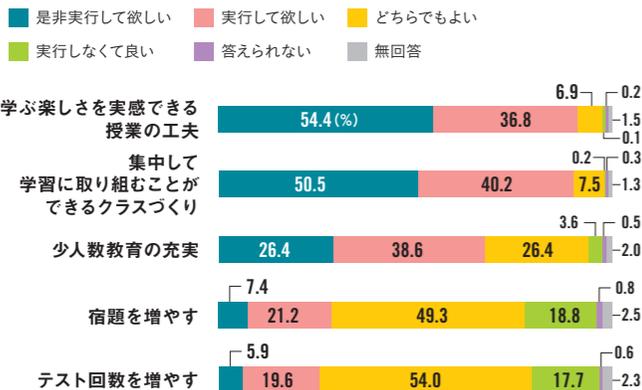
各授業間の休みは5分程度の学校が
ほとんど。短い時間の中で子ども
と話をしたり、連絡帳のチェックや宿
題の丸つけをしたりする。次の授業
の準備もその間に済ませる。クラス
に配慮が必要な子どもがいる場合
は、子どもの実態に応じた指導が必
要。特別支援学級の教員と打ち合わせ
をしたり、わかりやすい教材を準備
したりすることも。

小学校の教員の勤務開始は通常
8時頃から。しかし、担任が全
教科を担当するため、早い人は
7時前には出勤して授業準備を
する。登校指導を行う場合、7
時半頃に集合場所に向かい、集
団登校の子どもたちを見守る。

小学校編

グラフ2 学力向上のために求めたいことは？

※22項目の中から5項目を抜粋

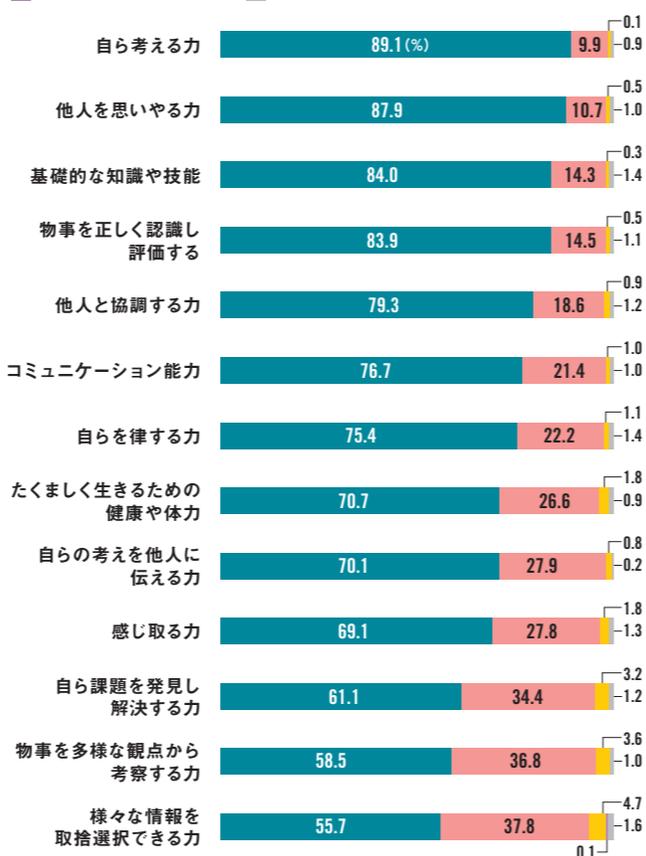


保護者の教育に関する意識調査

出典：公益社団法人日本PTA全国協議会「平成25年度教育に関する保護者の意識調査」

グラフ1 子どもに付させたい力は？

是非とも身につけさせたい (blue), できれば身につけさせたい (red), どちらでもよい (yellow), 身につけなくてもよい (purple), 無回答 (grey)



「家庭と学校の間でのコミュニケーション」については、4人に1人がとれていないと回答しており(グラフ4)、価値観やニーズの多様化のなかで、教育現場にはより密なコミュニケーションが求められている。

2 多様化している保護者のニーズ
014年3月、日本PTA全国協議会は、「教育に関する保護者の意識調査」の結果を公表した。「子どもに付けさせたい力」の上位2回答は、「自ら考える力」と「他人を思いやる力」。これらは3位の「基礎的な知識や技能」を上回っている(グラフ1)。「学力向上のために求めたいこと」では、「学ばしさを実感できる授業の工夫」、「集中して学習に取り組むことができるクラスづくり」が、「テスト回数を増やす」や「宿題を増やす」を上回り、教員に授業やクラス運営上の工夫が求められていることがわかる(グラフ2)。

大阪教育大学には、「教科指導力に長けた教員を育成する」という明確なカリキュラムポリシーがあります。教員は、小学校では全科、中学・高校では教科ごとに指導を行います。小中高校を通じて教科指導力のある教員を育成し、全国各地の学校へ送り出していくことで、教員全体の質を高めることを一貫して目指してきました。それと同時に、子どもたちが、芸術や運動などの力を発揮できるよう、音楽や美術、体育など実技面の向上のため、他大学と比較してもかなりレベルの高い活動をしてきていると自負しています。

高等教育機関としての大学、特に本学のような国立大学には、「イノベーション」と「グローバル化」というミッションが課せられています。

イノベーションとは、新しい科学的な知見を国にもたらす教育を成立させることが出来るのかということ。そして、2020年度以降、小学校で英語が教科化されることを視野に入れ、グローバル化を図っていく。受け入れる留学生の数や海外留学する学生の数を増やすなどし、更には英語を中心とした外国語での授業に力を入れています。これは、「CLIL (Content and Language Integrated Learning)」と呼ばれるプログラムで、様々な科目を外国語で教えることで、国際的なコミュニケーション能力を、教科内容を通じて伝えることを可能とするものです。海外43校の協定大学と連携し、「CLIL」を中心とした教員養成機能の国際化を図っていきたくと考えています。

学生のみならずには、大学生活を通じてできるだけ多くの人と関わってほしいと思います。本学を卒業する学生の多くは、教職員をはじめ、人と関わる職に就きます。それ以外の、例えば製造業などであっても、上司や同僚など、人と関わりながら仕事をするわけですから、信頼関係を自分の力で構築していけるかどうかは非常に重要です。同時に、しっかりと課題や目標、得意分野を見つけ、それを発展させていく。これは大学生活において非常に重要なことだと思います。



学長が語る
vol.3
大阪教育大学編

**小学校で英語が教科化
教員養成機能の国際化を**

大阪教育大学長
栗林澄夫さん

大阪教育大学をはじめ、高等教育機関としての大学に課せられた使命とは……。具体的な実践例を交え、栗林澄夫学長に語っていただきました。



Profile
1948年富山県生まれ。大阪教育大学学長。73年富山大学文理学部文学科卒業。75年、大阪大学大学院文学研究科修士課程修了。76年から大阪教育大学教育学部助手、講師、助教授を経て、97年から教授。2002年に副学長に就任(04~14年附属図書館長を兼務)し、14年より現職。